

新型インフルエンザ研究会 2010年度 年間計画

1. 研究会名 新型インフルエンザ研究会

2. 座長名 縄稚 明弘

3. 副座長名 白澤 健志

4. 現在の参加人数 29名(22年7月31日現在)

5. 本年度の活動内容：昨年度の研究会活動を踏まえ、提言された課題の中から、会員メンバーの方々が共通的に取り組めるテーマを選び活動する。テーマの最終決定は、9月16日の定例会にて合意の予定。

< テーマ候補 >

1. 政府の基本的対処方針に関する課題
2. 企業の備蓄品に関する課題
3. 対策の終了時期に関する課題
4. 医療体制に関する企業にとっての課題
5. 法的課題(労働安全衛生法、労働契約法、感染症法などとの関連)
6. 医療行政の負荷を軽減するための課題
7. 訓練についての課題
8. B C Pについての課題
9. 従業員の勤務についての課題

今年度の研究会メンバーは、総務人事部門やリスク管理部門の方が多いので、対策本部としての共通課題(勤務体制、人的リソースの確保など)とB C Pを関連つけたものをテーマとしたい。

(例) 事業継続のための業務推進体制の整備について

6. 本年度の活動スケジュール

- 第1回研究会(7月27日)メンバー紹介、テーマ検討
- 第2回研究会(9月16日)テーマの確定、検討事項の洗い出し
- 第3回研究会(10月21日)検討事項の議論
- 第4回研究会(11月18日)検討事項のまとめ、ガイドラインの検討
- 第5回研究会(12月16日)ガイドライン作成、訓練シナリオ検討
- 第6回研究会(1月20日)共通事項の訓練、評価
- 第7回研究会(2月17日)個別業務(某業種で)の訓練、評価
- 第8回研究会(3月17日)活動成果のまとめ

7. 今年度末の達成目標

- ・ 新型インフルエンザの対策として、事業継続のための人的リソースをいかに確保するかあるいは感染拡大予防のための勤務体制などの、事前に検討しておくべき課題について整理し、ガイドライン（考慮すべき事項のまとめ）を作成する。
- ・ 作成したガイドラインをベースに、対策本部の基本行動訓練を実施し、さらに具体的な問題を抽出する。訓練結果・評価をレポートとして報告する。
- ・ できれば、ある業種（製造・流通・その他）の企業を想定し、事業継続（重要業務）の訓練を実施する。その訓練結果・評価をレポートとして報告する。

以上